

2018年度 第2回

平安朝文学研究会 研究発表会

日 時 2019年3月2日(土) 14:00~16:15

会 場 早稲田大学 戸山キャンパス 39号館5階 第五会議室

○ 研究発表 (14:00~15:00、15:15~16:15)

御手洗 靖大 (早稲田大学大学院 文学研究科 修士課程)

古今和歌集における「菅原朝臣」をめぐって

古今和歌集における道真詠には、「菅原朝臣」という異例な作者名が付されている。本発表では、先行研究を検討したうえで、そもそもなぜ道真の歌が入集したのか、そしてなぜ「菅原朝臣」と表記されたのかを、主に宇多天皇との関係から考察したい。

荒井 洋樹 (早稲田大学大学院 文学研究科 博士後期課程)

延喜十三年内裏菊合攷

延喜十三年は、亭子院歌合や内裏菊合、満子四十賀屏風と宇多・醍醐の周辺で和歌事績が繰り返されている。今回は、これらの事績を検討する一環として、十月十三日に開催された内裏菊合を取り上げ、参加者と和歌表現について精査し、その意義に言及する。

○ 懇親会 17:00より 会 場 かわうち 電話 03-3205-4129 (新宿区西早稲田 2-3-22)

※どなたでもご参加になれます (無料)。

※当日は、同会場で13:15より委員会を開く予定です。

◎お問い合わせ 平安朝文学研究会事務局 (早稲田大学文学学術院 陣野英則研究室内)

E-mail : jinno@waseda.jp